

家畜衛生情報

県内で牛のヨーネ病が続発！

平成18年10月

7月～9月に県内の乳用牛で牛のヨーネ病が3戸3頭発生しました。

● 県内のヨーネ病の発生概要

平成18年7月24日：恵那市（乳用牛） 1頭

（平成12年7月11日生まれ：県内産）

平成18年7月27日：大垣市（乳用牛） 1頭

（平成14年7月2日生まれ：北海道産）

平成18年9月26日：恵那市（乳用牛） 1頭

（平成10年10月25日生まれ：北海道産）



● ヨーネ病はどんな病気？

- ・ヨーネ病の病原体はヨーネ菌とよばれる細菌で、感染すると腸で少しずつ増え、糞便中に排菌されます。
- ・ヨーネ菌を含む糞便で環境が汚染されると、飼料や水と一緒に口から感染します。子牛は特に感染しやすい傾向にあります。
- ・ヨーネ菌は環境中で長く生き延びます。
- ・潜伏期間には個体差がありますが、通常1年から数年と長く、症状もないまま経過していきます。
- ・症状の進行した牛では、慢性頑固な下痢。乳量低下、消瘦、貧血などがみられます。

● ヨーネ病に対する動き

- ・国ではヨーネ病を撲滅するため、現行の「ヨーネ病防疫対策要領」を見直し、さらに厳しい要領に改訂する作業が進められています。

県外から牛を導入する場合は、必ず家畜保健衛生所に連絡し、ヨーネ病検査を受けて下さい。また導入牛は、隔離あるいは牛舎の端に繋ぐよう心がけて下さい。

飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp